

みずほCustomer Desk Report 2016/04/27 号(As of 2016/04/26)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	111.03 AUD/USD
TKY 9:00AM	111.14	1.1267	125.19	0.9751	1.4490	0.7714
SYD-NY High	111.47	1.1340	125.98	0.9767	1.4640	0.7765
SYD-NY Low	110.67	1.1257	124.70	0.9702	1.4480	0.7697
NY 5:00 PM	111.30	1.1304	125.79	0.9735	1.4583	0.7749
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)		11.9/12.3	△25RR	0.795	Yen Call Over	
NY DOW	17,990.32	13.08	債券市場	日本2年債	-0.2630	▲0.7bp
NASDAQ	4,888.28	▲7.50		日本10年債	-0.1000	▲4.0bp
S&P	2,091.70	3.91		米国2年債	0.8608	3.1bp
日経平均	17,353.28	▲86.02		米国5年債	1.3915	1.5bp
TOPIX	1,391.69	▲10.14		米国10年債	1.9271	1.4bp
シカゴ日経先物	17,540	40.00	為替市況	独10年債	0.2990	3.5bp
ロンドンFT	6,284.52	23.60		英10年債	1.6600	5.2bp
DAX	10,259.59	▲34.76		豪10年債	2.6510	1.9bp
ハンセン指数	21,407.27	102.83		USD/CNH	6.5027	▲0.0035
上海総合	2,964.70	18.03		ドルインデックス	94.57	▲0.27
USDJPY 3M Vol	11.36	0.18%	商品市況	CRB指数	181.483	2.61
USDJPY 6M Vol	10.99	0.17%		NY金	1,243.400	3.20
EURJPY 3M Vol	11.52	▲0.02%		WTI	44.040	1.40
EURJPY 6M Vol	11.07	0.01%		Dubai Spot	40.71	0.14

東京	東京時間のドル円相場は111.14レベルでオープン。本邦勢の月末絡みの円転フロー等が意識され仲値にかけて一旦111円を割れる局面も見られたが、すぐに111円台を回復した後、一時111.25まで上昇。しかし、前場の引けにかけて日経平均株価が下げ幅を拡大するとドル円も連れ安となり再び111円を割る展開となった。その後は目立った材料ない中、FOMCや日銀金融政策決定会合と重要イベントを控えて様子見ムードが強まると110円台後半から111円台前半での方向感に乏しい推移が続き、結局110.86レベルで海外へ渡った。なお、本田内閣官房参与の「今年前半には追加緩和してほしい」、「先手を取りたいなら明日からの金融政策決定会合で緩和すべき」とのコメントが伝わったが、相場の反応は限定的となった。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は堅調となり、再び111円台に上昇。朝方に110.86レベルでオープンすると、前場的なボンド高を受けボンド円が上昇する動きにドル円もつれ高となり、111.07レベルでNYへ渡った。ユーロドルは1.1270レベルでオープン。ボンドドルの上昇を受けドルが全体的に下落し、欧州金利が上昇する中、ユーロドルは底堅く推移し1.1275レベルでNYへ渡った。ボンドドルは1.4493レベルでオープンした後、Brexitをめぐる最新の世論調査が残留51%、離脱46%と残留派が優勢との結果が発表されると1.45台後半まで上昇し、1.4547レベルでNYへ渡った。(ロンドン・フォーリー 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	月末、大型連休を前にした本邦輸出企業のドル売りが意識される中、110.67まで下落したドル円は、111.07レベルでNYオープン。朝方発表された米3月耐久財受注が予想を下回ったことから110.88まで下落する。その後やや買い戻される局面もあったものの、続いて発表の米2月ケースシラー総合も予想を下回ったことから再び110.87まで下落する。米4月消費者信頼感指数も期待指数が前回から低下したことから市場予想を下回ったが、米系の月末絡みのドル買いが持ち込まれたことや、明日のFOMC結果発表を前に米金利が上昇する動きもあり、ドル円はじり高で推移し111.33まで上昇。午後に入ってもドル買いが継続したことから、一時111.47まで上昇し、111.30レベルでクロスした。一方、ボンドが上昇する動きに欧州通貨買いが優勢となり、1.1300まで戻したユーロドルは、1.1275レベルでNYオープン。朝方は弱い米経済指標を受け、ドル売りが先行したことから、1.1340まで戻すが、その後は米系企業の月末絡みのドル買いが持ち込まれたことや、明日のFOMC結果発表を控えた調整から1.2980まで反落する。午後ドル買いが継続したことから、ユーロドルは上値を抑えられ、1.1280まで下落した後、1.1304レベルでクロスした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 山下・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	米	Event	結果	予想
4月26日	21:30	米	耐久財受注/除く輸送用機器(前月比)	3月 0.8%/ -0.2%	1.9%/ 0.5%
	22:00	米	S&P/ケースシラー住宅価格指数(前年比)	2月 5.38%	5.50%
	22:45	米	マークイットサービス業/総合PMI	4月 52.1/51.7	52.0/-
	23:00	米	消費者信頼感指数	4月 94.2	95.8
	23:00	米	リッチモンド連銀製造業指数	4月 14	12

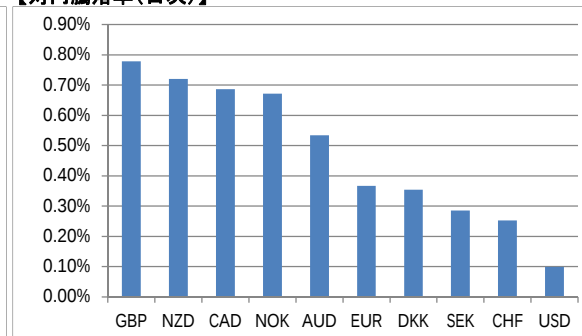
【本日の予定】

Date	Time	豪	Event	予想	前回
4月27日	10:30	豪	CPI(前期比/前年比)	1Q 0.2%/ 1.7%	0.4%/ 1.7%
	10:30	豪	CPIトリム平均値(前期比/前年比)	1Q 0.5%/ 2.0%	0.6%/ 2.1%
	15:00	独	GfK消費者信頼感	5月 9.4	9.4
	17:30	英	GDP(前期比/前年比)	1Q 0.4%/ 2.0%	0.6%/ 2.1%
	20:00	米	MBA住宅ローン申請指数	-	1.3%
	23:00	米	中古住宅販売契約(前月比/前年比)	3月 0.5%/ 0.8%	3.5%/ 5.1%
4月28日	03:00	米	FOMC政策金利	-	0.25%-0.50%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.80-112.00	1.1200-1.1350	125.00-126.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場は、月末や大型連休を控え、ドル円は本邦実需筋の売りに押され110円台へ下落。発表された米耐久財受注やケースシラー総合・消費者信頼感指数も予想を下回ったことで上値重い展開が続いたが、米金利が上昇する動きの111円台を回復。NY市場引けにかけては、日銀追加緩和期待もあり、111円後半まで上昇した。本日は、FOMCや日銀金融政策決定会合を控え、ポジション縮小の動きもあるかとは思われるが、日銀追加緩和期待からドル円は底堅い展開になると予想する。